



新年のごあいさつ

鶴居村長 大石 正行

村民の皆様、あけましておめでとうございます。ご家族お揃いで希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのことと謹んでお慶びを申し上げます。

また、村民の皆様には常日頃より村政各般にわたり格別のご支援、ご協力を賜り、心よりお礼を申し上げます。

昨年は、約3年半の長きにわたり我々の生活に大きな影響を与えてきた新型コロナウイルス感染症が、季節性インフルエンザと同等の対応に移行し、制限されていた旅行やイベントなどが各地で再開されるなど、国民生活はコロナ以前の日常を取り戻し、穏やかな年明けを迎えています。

コロナが席卷し行動が制限されていた中で、村内では新たな製造業の創業や宿泊温泉施設、レストランがオープンしました。また、「ファミスポ・アップ」や「あすぽっと」の開設もあり、村民の生活スタイルの幅が少し広がったのではないかと思います。

また、久しぶりに開催されたふるさと祭り等の恒例行事のほか、新たに開催された音楽祭等の各イベントでは、たくさんの方で活気を帯びていました。村民の方々の参加や活動の活性化によりコロナ禍以前を上回る賑わいを見せているような気がしました。

また、昨年の出来事で皆さんの記憶に残っているのは夏の暑さではないでしょうか。世界的に「地球温暖化」が危惧されている中、本村においても、気温30度を超える日が20日以上も続き、熱中症などの健康被害も多発する災害レベルの猛暑に悩まされた年でありました。

まさに「地球温暖化」の進行と「ゼロカーボン」の取組の必要性を身を持って体験した年でもあり、この夏に向けては、小中学校をはじめとした各公共施設等における暑さ対策を早急に進めてまいりたいと考えております。

経済に目を向けますと、国際情勢の不安定化に加え、長びく円安により輸入原材料や原油価格が高騰し、電気料金の高止まりや諸物価の上昇は、国民生活に計り知れない影響を与えております。

また、村基幹産業の酪農畜産においては、これに加え、牛乳・乳製品の需要減少や乳量制限等により大変厳しい経営環境となっております。

こうした中で迎えた令和6年。

私としては、酪農畜産の持続的な経営を守ることをはじめ、本村の強みや特質をフルに活かしながら観光をはじめとした産業の好循環を目指すとともに、村民の皆さんの潤いある暮らしが確保されるよう、医療福祉の確保、教育環境の向上のほか、本村のかけがえのない自然環境の保全や景観に配慮するなど、皆さんとともに一丸となって「美しい村づくり」の推進に努めてまいりたいと思っています。

1924年10月、釧路湿原でタンチョウが再発見されてから今年で100年を迎えます。

鶴居村の先人達はこの100年間、幾年月の日々を深い愛情とたゆまぬ努力を積み重ねて、タンチョウの保護に努められました。

今、タンチョウは国内でおよそ1,800羽、鶴居村ではおよそ600羽が生息し、今日もその美しい姿を間近で見ることができます。

ご承知のことと存じますが、古来「鶴は千年」といわれ「長寿を象徴する鳥」として、また夫婦仲が大変良く一生連れ添うことから「仲良きことの象徴」として、さらに鳴き声が共鳴して遠方まで届くことから「天に届く」といわれるなど、「めでたい鳥」として尊ばれてきました。

縁起良きタンチョウが再発見されてから100年を迎えたこの縁起良き年の喜びを、村民の皆さんと分かち合うとともに、今年を、鶴居村と村民皆様の飛躍の年となるよう祈念し、年頭のあいさつといたします。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。



新年のごあいさつ

鶴居村議会議長 松 井 廣 道

新年あけましておめでとうございます。

村民の皆様におかれましては、希望に満ちた新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

村民の皆様には、日頃から村議会に対しまして深いご理解と温かいご支援を賜り、深く感謝とお礼を申し上げます。

昨年は統一地方選挙が行われ、本議会におきましては、新人も加わり新たな出発をいたしたところであります。不肖私、議員皆様のご推挙によりまして、再び鶴居村議会議長の要職に就くことになりました。住民の代表として、負託に応えるべく議会活動に精励してまいります。これからも村議会への温かいご支援とご協力をお願い申し上げます。

昨年を顧みますと、約3年もの間続いた新型コロナウイルス感染症が5類へと緩和され、人の動きも活発になり、これまで中止又は自粛となっていた各行事やイベント等が再開されるなど、窮屈な生活からも徐々に解放され、一定程度ではありますが、日常を取り戻すことができたのではないかと感じています。

そうした中、2023年の猛暑。

過ごしやすいと言われる北海道、道東においても、記録的な暑さでした。

村民の皆様におかれましては、日々の暮らし、体調管理等ご苦労されたことと思います。

一方、引き続きロシアによるウクライナへの軍事侵略等をはじめ、国内外の様々な要因による不安定な社会経済情勢の中において、資材・燃油・物価高騰など、皆さまにおかれましては、日々の仕事、生活への影響も大きく、厳しい一年であったかと思えます。

さて「一日の計は朝^{あした}にあり、一年の計は元旦にあり」と申します。お正月ほど希望に満ち溢れ、進歩・向上の意気に燃える時はございません。

「新年は」は、過去の諸々の事柄に区切りをつけ、心機一転、再出発する機会と勇気を与えてくれるからであります。

「もう一度新たに」という、この気持ちが人々に喜びを与え、限りなく前進する気力を与えるものと思います。

2024年は十干^{じっかん}では甲、十二支では辰にあたるため「甲辰（きのえたつ）」と言われています。甲とは「甲乙丙～癸」の始まりであることから、物事の始まりととらえられ、辰とは「発芽した植物がしっかりとした形になる、勢いと大きな力、成功ととらえられることから、この二つが合さる甲辰は、新しいことを初めて成功する、いままで準備してきたことが形になるといった縁起の良い年になると考えられているそうです。又、辰年は、変化や発展の年とされており、新しいことに挑戦をする、自分の能力を発揮するチャンスが多い年とも言われています。

2024年は辰年にあやかり、鶴居村、村民皆さまにとりまして「目標に向けて、飛躍する年」となることを願うところであります。

本年におきましても議員一同全身全霊を傾注し、村民お一人おひとりの声が村づくりに反映できるよう取り組んで参る所存でありますので、皆様のさらなるご支援を心よりお願い申し上げます。

結びにあたり、何よりも村民の皆さま方がご健勝で幸多い素晴らしい一年となりますよう心からお祈り申し上げ、年頭のご挨拶と致します。

あけまして おめでとう ございます

村 長 大石 正行
副 村 長 長尾 法明
教 育 長 村上 明寛

鶴居村議会
議 長 松井 廣道
副 議 長 松井 洋和
議 員 松井 俊治
議 員 板 宏哉

議 員 吉田 保博
議 員 大津 泰則
議 員 及川 満浩
議 員 東 隆行
議 員 佐藤 吉人

監査委員
代表監査委員 灰塚 玲子
議選監査委員 大津 泰則

教育委員会
教育長職務代理者 高橋 文雄
委 員 坂本 和也
委 員 藤原 千晶

農業委員会
会 長 明歩谷正志
委 員 手塚 信幸
委 員 水本 梨佳

委 員 増田 慶一
委 員 瀧澤 一成
委 員 塩越 克哉
委 員 齊藤 滋
委 員 東 隆行
委 員 熊谷 郁子

選挙管理委員会
委 員 長 渡辺 巖

職務代理者 白木 良雄
委 員 松井 基廣
委 員 大槻 典行

固定資産評価審査委員会
委 員 長 野澤 弘幸
委 員 松井 基廣
委 員 竹中 憲之

ほか職員一同